

白鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

自然の中で学ぶ ～5年生自然教室～

5月15日・16日、小学校6年間の中でも大きな思い出の1つとなる、5年生の自然教室を行いました。

初夏の北山少年自然の家を中心に、さわやかな緑と透き通る青空の下、様々な活動をしてきました。

1日目は、北山湖を一周しながら、協力して問題を解いていく「フィールドビンゴ」、焼いた杉板の表面を磨いてミニ看板にする「焼き杉」、夜は「キャンドルの集い」「ナイトハイク」と盛りだくさんです。

2日目は、薪の火を使って自分たちのお昼の食事をつくる「野外炊飯」を行いました。

自然教室で学ぶのは、自然の美しさ、不思議さ、厳しさだけではなく、豊かな自然の中で、仲間と協力して、生活していきます。いつもより、ちょっと不自由な環境の中で、友達の優しさや協力することの大切さ、自分の本当の強さなどに気づきながら、いろいろなことを経験していきます。

毎年、5年生は、この自然教室を通して、一回り大きく、たくましく成長していきます。昨年度までは中学年だった子供たちが、本当の意味で高学年になっていく姿を見ることが出来ます。

子供たちを大きく成長させるこの自然教室の力というのは、とてもすごいです。

これからの5年生の姿に期待します。



はなまる先生よろしくお願いします

朝のスキルタイムの丸付けボランティアに、今年も「はなまる先生」が来てくださっています。

「はなまる先生」は、1～3年生の教室に来てくださいます。子供たちもいつも以上に張り切ってプリントの問題に取り組み、我先にと丸を付けてもらいに行っていました。「はなまる先生」がおいでになると子供たちもやる気が出ます。

今年もどうぞよろしくお願いします。



つながるボランティア

本年度はボランティアを更に活性化させたいというお話をしました。

前回の「白鳥」では、花壇の草取りのお手伝いをする子供たちを紹介したのですが、今度は、手伝いではなく、自主的に草むしりをしている3人の子供たちがいました。話を聞いてみると、先週も自分たちで声を掛け合い、草むしりをしていたそうです。頼まれたことをお手伝いするのではなく、自分たちでみんなの役に立つ仕事を見つけて行動に移すことができる姿に、とても感心しました。

もちろん休み時間なので、思いっきり遊ぶこともとても良いことですが、時々、周りに目を向け、みんなのために自分の力を使うことができれば、下村湖人先生が望まれていた「白鳥蘆花」の精神につながるなと思いました。

